

大正九年十二月二十四日第三編郵便物認可(毎月一回二十五日發行)  
昭和七年三月二十四日印刷部本 昭和七年三月二十五日發行

No. 132

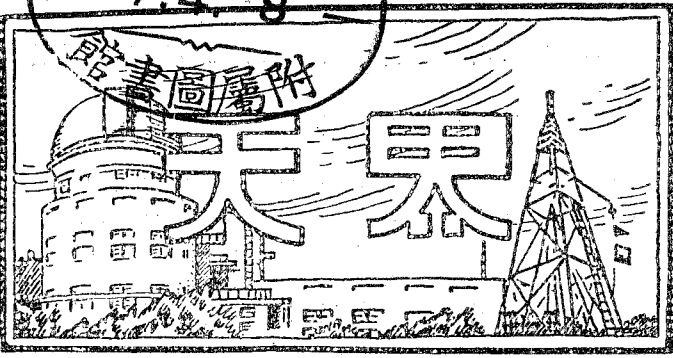
天界 HEAVENS

April, 1932.

編輯 理學博士 山本一清 理學士 竹田新一郎 中村 要

第百三十二號 (第十二卷)

昭和七年四月號



目 次

リチ博士と最近製作中の大反射鏡……………(口繪寫眞)

今1932年度に記念すべき人々……………123

花山天文臺の經緯度決定……………124

通俗講座「天文學 ABC」(4)……………理學博士 山本 一清…125

天文電報の話(3)……………理學博士 上田 穰…129

天界新知識(20件)……………134

天文語「一行」辭典(イカよりイン迄)……………X Y 生稿…143

天文同好會觀測部月報○流星○彗星……………145

觀 測 帳……………花山天文臺 中村 要…153

本年四月の天象……………154

「初等天文學講話」を紹介す……………岡山……………水野 千里…158

夢を喰ふ者……………花 山 子…160

通信及び報告……………161

京都帝國大學内 天 文 同 好 會 發 行

## 天文同好會

### 會 告

昭和七年四月の例會を、下の如く開きます。例により遠近より會員諸氏の來會を歓迎します。

時日： 四月十六日(土曜)午後三時

場所： 京都帝國大學花山天文臺

電車は東山通仁王門にて乗り換へ、東行し、蹴上げで下車、それから東海道筋を五丁東進し、花山道路に入る。(又、三條大橋から花山道路の入口までは乗合バスもあります。)

當日、下の講演と展覽とがあります。

講演：教授理學博士 山本一清氏「我が開國文化と天文學」

展覽：我が昔時の天文圖書及び器械等種々

Contents of THE HEAVENS No. 132, April 1932.

Professor G. W. Ritchey and His New Large Mirror (Frontispiece); Scientists to be Remembered in the Year 1932 (123); Longitude and Latitude of Kwasan Observatory determined (124); *Issei Yamamoto*, The A B C of Astronomy (125); *Joe Ueta*, Story of Astronomical Telegrams (129); Latest Knowledges of Astronomy (134); *X. Y.*, Astronomical Glossary (143); Monthly Reports, Observing Section, S. A. F. (145); *Kaname Nakanura*, My Observation Note-book (153); Heavens of April, 1931 (154); *Ch. Mizuno*, Review of "Elementary Course on Astronomy" by Prof. Yamamoto (158); *Kwasan-si*, A Dream-eater (160); Society Notes and Letters (161).

## 美しい天文エハガキ

天文同好會發行

### 第1集 花山天文臺のモダン建築

本館の偉容 表玄関 子午線館あたり

### 第2集 花山天文臺の尖端的な觀測設備

クツクの望遠鏡 カルヅ1の大反射鏡 90耗の子午儀

### 第3集 いろいろの天體寫眞

スマトラの日食 二十日の月 土星の美姿

各集の價それぞれ金10錢 (送料三組迄二錢)

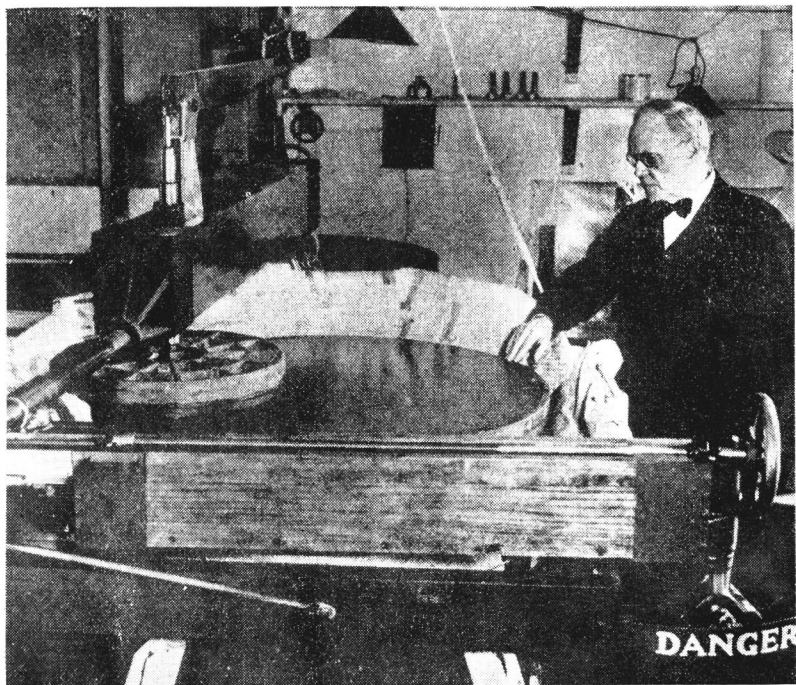
天文寫眞エハガキ (精細な説明書付き)

十枚一組金30錢 (送料共)

## 天文同好會

花山天文臺 及び 京大天文教室

## リチー博士と最近製作中の大反射鏡



かつて米國キルソ山天文臺の 150 種や 250 種の大反射鏡を作りあげた リチー G. W. Ritchy 博士は今般ワシントン海軍天文臺のために口径 120 種の最新型反射鏡を磨き、其れが殆んど今完成した。此の新型反射鏡は博士が數年前パリに滞在中クレチヤン教授と共同研究して考案したもので、口径の割合に集光力非常に大きく、凡そ 1,500,000,000 光年の距離にある銀河外星霧を撮影し得るものと豫期されてゐる。

# 天文同好會

大正九年(1920年創立)

會長	山本一清(京都市東一條)〔電話上5098〕
副會長	水野千里(岡山市門田21)
幹事	竹田新一郎(大阪府北河内郡香里)〔電話寢屋川41〕
	中村要(京都帝國大學花山天文臺)〔電話上6165〕
會計	八木誠一(京都帝國大學天文學教室)
本部	京都帝國大學理學部天文學教室〔電話上980ノ222〕
倉敷天文臺	岡山縣倉敷市〔電話35〕——原名譽臺長〔電話75〕

## 天文同好會規則(昭和6年11月22日改正)

- 第一條 此ノ會ヲ天文同好會ト云フ
- 第二條 此ノ會ハ天文學ノ了解ヲ進メ兼ネテ同好者相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デア  
ル
- 第三條 本部ヲ京都帝國大學天文部内ニ置ク又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
- 第四條 此ノ會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ次ノ事業ヲ行フ
- 一. 講演(例會毎月一回, 總會年一回, 其他臨時會)
  - 二. 講習(各地デ臨時ニ開ク)
  - 三. 雜誌圖書ノ出版(雜誌ハ毎月會員ニ無代配布, 圖書ハ隨時)
  - 四. 見學及ビ實地觀測(本會ニ觀測部ヲ置キ別記ノ規約ニ依ル)
  - 五. 天文臺ノ經營(會員ニハ特權ガアル)
- 第五條 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル(申込ノ際ハ住所職業生  
年ヲ記入セラレタイ。)會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圓トス. 但シ中途入會ノ場  
合ハ月參拾錢ノ割デ年末マデ前納ノ事
- 第六條 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ毎年金貳拾圓以上ヲ贈出スル者ヲ維持會員ト  
スル
- 第七條 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニテ特ニ推舉セラレタ者ヲ名譽會  
員トスル
- 第八條 此ノ會ノ役員ハ次ノ通り
- 會長 一名 副會長 一名 會計監督 一名 幹事 二名 會計 一名  
會長ト副會長ト會計監督トハ總會デ選舉セラレルモノデ, 任期ハ二ケ年. 幹事ト  
會計トハ會長ノ指名デ任期一ケ年
- 第九條 此ノ會ニ評議員若干名ヲ置キ, 役員ノ相談相手トナル

天界 第三百三十二號 昭和七年三月二十四日 印刷 [定價金參拾錢] 郵稅金壹錢  
昭和七年三月二十五日 發行

編輯兼發行者 京都帝國大學内(振替貯金口座大阪56765) 天文同好會(代表者山本一清)  
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂(電本426.427.4501)  
印刷者 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助  
賣捌所 東京市神田區錦町1の19 新光社(振替東京43240)  
同 芝 區南佐久間町2の3 恒星社(同 64738)

第 四 版

古賀恒星圖

本會大牟田支部幹事  
古賀 和吉氏作

本會々長 理學博士  
山本一清氏校訂

肉眼で星を見るためにも、望遠鏡で観測するためにも、星圖が必要であることは言ふまでもない。我が國の各地に星を見る人々が増すにつれ、近年はいよいよ星圖の要求が大きくなつて來た。本會發行の簡易星圖は此等の要求に應ずる最初のものであるが、天文趣味に少しく進んで行つた人は皆「もう少し詳しい星圖が欲しい」と言はれる。本會は創立の頃、會員古賀氏が作つた古賀恒星圖なるものを發行して其要求に應じた。以後版を重ねて現在四版に及んで居る、其出版に際して山本教授の手によつて多少の改訂が施され、版のデザインや印刷も幾らか改められ、美的で、清楚で、携帯に便利なものとなつた。

此の圖は、壁に掛けても好し、観測帳のページの間に挟んでも好し、折り込んでアトラスとしても好し、——實に、何にでも應用できるものになつた。價格も初版の五分の一である。

今や、肉眼星圖の完全なものとしては、此の星圖が我が國に唯一のものである。畫かれてある星の數4300個。星雲や星圖なども、主なもの皆含まれてゐる。

價 3 0 錢 送 料 2 錢 (筒入小包送料10錢)

改 正 第 六 版

簡 易 星 圖

大きさ 40 センチ × 50 センチ、肉眼恒星約 1000個。

一 枚 金 十 錢 (會員には送料不要)

發 行 京 都 帝 國 大 學 内  
天 文 同 好 會  
[振替大阪56765]

天界  
第十二卷第百三十二號(四月號)昭和七年三月二十五日發行  
大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可(毎月一回二十五日發行)